

Jan Staessen ルーベン大学教授

# 帝京大学来校記念講演会

2014.3.24(月) 板橋キャンパス204教室

女性医師・研究者支援センター主催

ベルギーのルーベン大学高血圧・疫学研究センターでは、家庭血圧や24時間自由行動下血圧に関する世界各国のコホート研究のデータを集約し、循環器予後を中心とした大規模研究を展開しています。今回のセミナーでは、同センターから主任教授と2名の学術研究員を帝京大学にお招きし、世界の研究者事情についてお話を伺います。将来的に国際共同研究への参画や海外への研究留学を希望されている方には情報収集の絶好の機会です。奮ってご参加ください。

## 女性研究者のキャリアアップ

15:30-16:15 ルーベン大学高血圧研究所におけるキャリア構築  
Jan Staessen 先生

ベルギー ルーベン大学 循環器科学講座高血圧・疫学研究センター主任教授。  
JAMA, Lancet, New England Journal of Medicine等に筆頭著者あるいは責任著者として、幅広い医学分野で数々の論文を発表し、多くの若手研究者を熱心に育成している。



16:15-17:00

ベルギーの研究者たち 男性研究者の視点から  
浅山 敬(あさやま けい)先生



東北大学 医学系研究科博士課程卒業。診察室外血圧のエビデンスを世界に発信した「大迫研究」や、家庭血圧に基づいた介入試験「HOMED-BP研究」など国内外の高血圧コホート・介入研究に従事。2011年よりルーベン大学に留学中。2013年日本高血圧学会総会にてYoung Investigator's Award優秀賞、Hypertension Research Award最優秀賞を受賞。

17:00-17:45

女性研究者のキャリアアップ  
海外研究者の選択とワークライフバランス  
原 梓(はら あずさ)先生

東北大学薬学研究科臨床薬学分野博士課程卒業。国立がん研究センターがん研究特別研究員を経て、2013年4月よりルーベン大学に留学。大迫研究や「多目的コホート研究(JPHC研究)」などの日本の代表的な大規模研究に従事。東北大学在学中は、女性研究者支援のために設立された「サイエンスエンジェル」(自分の研究活動を伝えるロールモデル的役割)の第一期生として活躍。



18:00-19:30 TARCセミナー  
Jan Staessen 先生

Moving 'omics' to clinical practice  
帝京大学臨床研究センター(TARC)主催 女性センター共催



問い合わせ先 女性医師・研究者支援センター 田島  
(センター長 冲永寛子 室長 野村恭子)  
内線 34672 直通 03-3964-8456 tajima@med.teikyo-u.ac.jp